

所属	看護学部／ヘルスプロモーション看護学系	職名	講師	氏名	小野 順子
----	---------------------	----	----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

- ・ 専門は地域（公衆衛生）看護学
- ・ 主な研究分野

研究テーマは高齢者の歩行動作改善に関する介入研究

地域で自立して生活する高齢者がその自立した生活を継続するためには「歩行能力を維持する」ことが重要である。加齢に伴う心身機能の低下は姿勢や歩行動作の変化をもたらすが、その変化を自覚することは難しい。しかし、歩行能力の低下を自覚する前に自分自身の歩行動作の変化を認識し、改善することができれば身体機能の維持・増進や要介護状態の予防につながるものと考えられる。現在取り組んでいる研究では、地域で自立した生活を送る高齢者に対して広く適応可能な歩行動作の改善方法を模索し、その効果について検証を行っている。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

- ・ 高橋郁子、守田孝恵、山崎秀夫、檀原三七子、小野順子、「A 県における高齢者施設の感染症発生と感染症予防対策の現状」、第 38 回日本看護学会論文集－地域看護、2008.4
- ・ 尾形由起子、小野順子、山下清香、松浦賢長、「虚弱高齢者の介護予防における保健師の地域支援技術の特徴」、福岡県立大学看護学部紀要第 8 巻 2 号.2011.3
- ・ 守田孝恵、山崎秀夫、高橋郁子、檀原三七子、小野順子、「糖尿病関連の地域連携に関する全国自治体調査」平成 21 年度厚生労働科学研究報告書（地域における包括的糖尿病ケアシステムの構築とその医学的・経済学的評価に関する研究分担研究報告書）、2010.3
- ・ 福田吉治、小野順子、「山口県における特定健診特定保健指導と糖尿病の地域連携について」平成 21 年度厚生労働科学研究報告書（地域における包括的糖尿病ケアシステムの構築とその医学的・経済学的評価に関する研究分担研究報告書）、2010.3

### ②その他最近の業績

- ・ 小野順子、守田孝恵、山崎秀夫、高橋郁子、檀原三七子、「言語教示による高齢者の歩行動作改善の試み」第 68 回日本公衆衛生学会、2009.10
- ・ 高橋郁子、小野順子、原口由紀子、「高齢者施設の施設種別による感染対策の比較」、日本地域看護学会第 13 回学術集会、2010.7
- ・ Junko Ono, 「THE EFFECT OF CONSCIOUSNESS WALKING FOR ELDERLY FALL PREVENTION」, The 20th IUHPE World Conferences on Health Promotion – Geneva 2010 –, 2010.7

## 3. 外部研究資金

文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B)、「転倒経験のある高齢者の特性と教育介入による転倒予防効果」、3,260,000 円、2010 年度～2012 年度

## 4. 所属学会

日本看護学会、地域看護学会、日本公衆衛生学会、Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing

## 5. 担当授業科目

地域看護学実習Ⅱ・2 単位・3 年・通年、地域看護学実習Ⅲ・3 単位・編入 4 年・後期、健康教育論・2 単位・3 年・前期、地域看護論・2 単位・2 年・前期、地域看護論Ⅱ・1 単位・3 年と編入 4 年・通年、地域看護活動論・2 単位・2 年・後期、専門看護学ゼミ・2 単位 4 年・前期